

野外上映 Outdoor Screening

幅広い層の方々に文化芸術に触れていただく試みとして、沖縄最大の魅力の一つである美しいビーチを活かした野外上映イベントを実施。
開催日程：11/24（金）～11/25（土）会場：南城市 あざまサンサンビーチ 料金：500円※当日会場のみ販売



『大海原のソングライン』
Small Island Big Song
監督：ティム・コール
2019 / 82分 / 台湾・オーストラリア / 多数の言語 / FHD

この映画祭にインスピレーションを与えたドキュメンタリー。波打ち際で、音を浴びよう

5000年前、太平洋には海を渡る人々がいた。彼らは数千年に渡って大海原を攻略し、地球の半分を覆う島々にたどり着いた。文字が普及する前の時代、彼らは音楽で交流していた。監督とプロデューサーの2人は3年間に渡りその航路をたどった。



『1秒先の彼』
One Second Ahead, One Second Behind
監督：山下敦弘
2023 / 119分 / 日本 / 日本語 / FHD

ハンディキャップがある人も、そうじゃない人も一緒に楽しめるUDCast対象作品！

台湾映画『1秒先の彼女』(2020年)をリメイクし、原作の舞台を京都に移して男女のキャラクター設定を逆転し、周囲よりフンテンが早い男性ハジメ(岡田将生)とフンテンが遅い女性レイカ(清原果耶)の“消えた1日”をめぐる物語を描く、軽妙なユーモアと映画の瞬間が息づくラブストーリー。

「マブイ特別賞」上映 Mabui Special Award Screening

環太平洋地域において傑出した業績を上げた人物等に贈られる本賞。第1回は日本映画やアート・シネマといった既存の枠組みを打ち破る作品を作り上げてきた高嶺剛監督およびキャスト・スタッフの皆さまです。



『夢幻琉球・つるヘンリー』
Tsuru-Henry
監督：高嶺剛
1998 / 85分 / 日本 / 沖縄語・日本語・英語・台湾語 / FHD
放浪の民謡歌手つるが拾ったのは、握られることなかった映画『ラプーの恋』のシナリオ。その映画とは「沖縄の過ぎ去りし日を懐かしみながら未来を言い当てるSF映画」だった。



『パラダイスビュー』
Paradise View
監督：高嶺剛
1985 / 117分 / 日本 / 沖縄語・日本語 / FHD
日本復帰直前の沖縄。失業中のレイシュ、彼に思いを寄せるチル、東京からきたイトーという植物学者らが暮らす村。ある事件でレイシュが行方をくらましてしま...



『サシングワ』
Dear Photograph
監督：高嶺剛
1973 / 15分 / 日本 / FHD
着色を施された古い家族の写真がゆるやかな三線の調べに乗って浮かんで消えていく。故郷を離れた高嶺がみずからの家族写真に投げかけるまなざしは強い喪失感に特徴づけられる。

VR体験上映 Virtual Reality Section Screening

日本の映画祭では珍しいVR作品を上映します。皆様これまでと異なる新しい映画体験を提供します。※詳細はホームページまで。
開催日程：11/25（土）～11/26（日）場所：那覇文化芸術劇場なはーと 料金：500円※当日会場のみ販売

VRフォーラム 11/26 16:00-

映画祭公式「VRパートナー」である「HTC VIVE ORIGINALS」による「VRフォーラム」も開催されます。



Talk Event #01

高嶺組トークイベント
「高嶺剛と鬼才たちの夢幻の屋下がり」
11/25（土）13:00-14:00 会場：タイムスホール 60 min
Talk by Go Takamine and His Team
Panel Discussion with Go Takamine and Guest Speakers - Exploring Cinematic Dreams

沖縄芝居の重鎮から批評家、建築家、編集者まで多彩な顔ぶれが集まって作られる高嶺映画の魅力とは？ コナマニアでも初心者でも楽しめる夢幻自在に愉快で怪しいトークを繰り広げます。

Talk Event #02

クリストファー・マコト・ヨギトークイベント
「僕らは世界のウチナンチュ・フィルムメーカー」
11/25（土）15:00-16:00 会場：タイムスホール 60 min
Talk by Christopher Makoto Yogi
In Conversation with Christopher Makoto Yogi and Joseph Kamiya - Legacy of Uchinanchu Filmmakers: Tales Through Generations

現在世界でも注目されているインディーズ映画監督のクリストファー・マコト・ヨギ。映画『先祖たちの拒絶』の共同プロデューサー、音楽、編集を手がけた神谷ジョセフと共演。二人が世界のウチナンチュとして映画を作る意味を考えます。

Talk Event #03

アミール・ナデリ トークイベント
「『駆ける少年』の少年は今——映画の中の子どもたちの成長」
11/25（土）17:00-18:00 会場：タイムスホール 60 min
Talk by Amir Naderi
Director Amir Naderi and Actor Madjid Niroumand
Talk about "The Runner" after Such a Long Time

本映画祭審査員であるアミール・ナデリが1985年ナント三大陸映画祭グランプリ受賞作『駆ける少年』の主演を務めたマジッド・ニルマンドを引き連れて、映画史に残る傑作を作り手みずから振り返り、徹底解剖する映画ファン垂涎のトークです。

チケット情報 TICKET 問合せ：映画祭事務局 (098-996-2898) Cinema at Sea

前売り ¥1,000 (税込) 当日券 大人 ¥1,300 (税込) 学生 ¥500 (税込) 野外上映 ¥500 (税込)

【インフォメーションセンター】 ホテル コレクティブ 1F 映画祭センター 受付期間：11/18～11/29

※学生チケットは入場時に学生証の提示が必要となります。 ※学生チケット、野外上映チケット、VR体験チケットは当日のみの販売になります。 ※映画祭に関するお問合せは上記インフォメーションセンターまでご連絡ください。 ※各劇場へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。



【主催】 NPO法人 Cinema at Sea 【共催】 那覇市 【オフィシャルパートナー】 株式会社沖縄ファミリーマート | ホテル コレクティブ
【VRパートナー】 HTC VIVE ORIGINALS 【沖縄環太平洋映画インダストリーパートナー】 Eventual 【協賛】 Mr.KINJO | まさひろ流通 | 三和交通グループ | ドン・キホーテ | レステル那覇 | OCVB 沖縄フィルムオフィス | 一般財団法人 PEACE DAY
AB アコモ株式会社 | 昭和村グループ | ホテルバームロイヤルNAHA 国際通り | 株式会社インナーフォーム | 株式会社Micro Media | 有限会社Wave | ホテル沖縄那覇 | ウィルトンジャパン株式会社 【助成】 EU・ジャパンフェスト日本委員会 | アンスティチム・フランス
【メディアパートナー】 The Hollywood Reporter Japan | 観電視 Mirror TV | 衣菜提供 | あらがき賞衣菜 【後援】 台湾文化センター | 台北駐日経済文化代表処 那覇分処 | 琉球新報社 | 琉球朝日放送 QAB | 沖縄タイムス社 | 琉球放送 RBC

第1回



沖縄環太平洋国際フィルムフェスティバル

Okinawa Pan-Pacific International Film Festival

11.23(木)～11.29(木) 2023

新しい映画祭、はじまる。

Embrace Cinematic Horizons: Our Journey Begins Here!



俳優 / Cinema at Sea アンバサダー 尚玄 SHOGEN

この映画祭が懸け橋となり日本映画の国際化の一助となれるように、そして地元の方々や観光客の皆様にも楽しんでいただける、晩秋の沖縄の新しい風物詩となるよう僕も精一杯尽力いたします。

painted by Yuki Yamada



Opening Film / オープニング上映



『オキナワより愛をこめて』
From Okinawa with Love
監督：砂入博史
2022 / 101 min / 日本・アメリカ / 日本語・英語 / FHD
写真に残る復帰直後の沖縄。写真家・石川真生の半世紀の記憶。

Closing Film / クロージング上映



『私たちはここにいる』
We Are Still Here
監督：ベック・コール、トレーシー・リグニエ、ダニエル・マクレーン、デーナ・カーティス、ティム・ウォーラル、リチャード・カーティス、ルネ・マイヒ、ミキ・マガシワ、マリオ・ガオア、ジャンデル・パーゴイン
2022 / 90 min / オーストラリア・ニュージーランド / 英語・トルコ語・マオリ語・サモア語・アレンテ語 / FHD
多面体のオムニバスで描き出される先住民族の1000年。

Director in Focus / ディレクターインフォーカス

環太平洋地域の島々から注目の監督を取り上げ、当該地域の優秀な映像作家を紹介します。

Christopher Makoto Yogi
クリストファー・マコト・ヨギ
『シンプル・マン』
『アキコと過ごした八月』
『誠』
『お化け』

Special Screening / スペシャル上映

この映画祭に関連したテーマでセレクトした作品を紹介します。

『オキナワ・フィラデルフィア』
『駆ける少年』
『あなたの微笑み』
『最後の楽園コスタリカ〜オサ半島の守り人〜』

Competition / コンペティション 観客に異なる視点を提供し、環太平洋地区の過去、現在、未来について考える契機となる作品を対象地域から集めました。

『アバンとアディ』
『サバイバル』
『緑の模倣者』
『ゴッド・イズ・ア・ウーマン』
『オルパ パパアの少女』
『クジラと英雄』
『BEE の不思議なスペクトラムの世界』
『水いらすの星』
『ロンリー・エイティーン』

Pacific Islands Showcase / パシフィックショーケース 日本を含めた環太平洋地域で制作された作品を選出、日本未公開作品を中心に5作品上映します。

『どこにもない場所の記録』
『岸を離れた船』
『台湾のイケメン・フィリピン』
『GAMA』
『先祖たちの拒絶』

TIME TABLE table with columns for dates (11/23 THU to 11/29 WED) and venues (Times Hall, Sakurazaka Theater, Naha Bunka Tenbusu Hall, AZAMA SunSun Beach, Times Hall, Sakurazaka Theater, AZAMA SunSun Beach, Naha Art, Naha Art, Naha Bunka Tenbusu Hall, Naha Bunka Tenbusu Hall, Times Hall). Rows show screening times and titles.